

ストリートから東京の今を伝える情報サイト

 style-arena.jp

2015 Spring

## 2015年春のストリートスタイル総括レポート

JFA「style-arena」Report 2015 SPRING

[www.style-arena.jp](http://www.style-arena.jp)

## 2015 年春のストリートスタイル総括

---

2015 年春のストリートでは、「ノームコア」の流れから、シンプル&クリーンなスタイルが多く見られた。秋冬からの継続トレンドも多く、オールホワイトや白ソックス、ロング丈アウター、スニーカーなどはそのまま春になっても勢いは止まらなかった。

ただし、同じトレンドでも秋冬と春では、当然素材も違い、同じアイテムでもロングスパンで見ると少しずつ変化している。

また、レディース、メンズの境いなく流行することが増え、レディースで流行っていたソックスとサンダルの組み合わせも、この春はメンズへと広がっている。

カラーではホワイトとそれに合うブルー／ネイビー系やブラックの組み合わせが多く、アクセントカラーとしてシルバーを靴や小物に取り入れる人も多かった。

### CONTENTS

---

地域別ファッションの特徴	3
ロングガウン <i>Long Gown</i>	4
デニムオンデニム <i>Denim on Denim</i>	6
サンダル×ソックス <i>sandals × socks</i>	8
シルバーシューズ <i>Silver shoes</i>	10
アディダス <i>adidas</i>	12

---

# TOKYO STREET STYLE 2015 SPRING

## 地域別ファッションの特徴

東京のストリートファッションを観察し発信している web サイト「style arena.jp」。原宿、渋谷、表参道、代官山、銀座という、テイストが異なった5つのエリアのストリートスタイルを掲載し、リアルなファッションの動きや流れを伝えている。

現在は以前とは違い、地域別ファッションの特異性というものは薄まりつつある。それでもまだ地域毎に根付いているファッションスタイルがあり、“違い”を感じる事ができるのも事実。このレポートではその違いについてもお伝えできればと思っている。

## 原宿 .....

### セオリーを無視したバランス感覚。

バランスや感覚に優れた若者が多く、モード、カジュアル、トラッドなどのスタイルを融合した、いい意味でセオリーを無視したスタイルを生み出している。また、原宿は東京で一番古着屋が集まっている街。ほとんどの人が古着を取り入れ、個性的なファッションが見られる。



## 渋谷 .....

### この街を見れば、日本の女性の“今”が分かる。

流行の移り変わりが最も激しい街。流行のブランドに集中した結果、似たようなファッションスタイルをよく見る事が多い。“流行はあるが個性がない”のが渋谷。しかし常に新しい物を求め、敏感に探し、纏っているのが渋谷だ。この街を見れば、日本の女性の“今”が見えてくる。



## 表参道 .....

### スマートでモードな洗練スタイル。

ハイブランドの路面店が並ぶ表参道では、集う人々のスタイルは特に洗練されている。基本はモノトーンを基調にしたスマートでモードなファッションで、小物使いがうまいのも特徴。無駄な物は付けず、コーディネートが足し引きの感覚が優れている。高級なものもそうでない物も、等身大で飾らずにスタイリングできるセンスを持ったエリアだ。



## 代官山 .....

### 流行に流されない個性派が集う街。

雑貨屋や古着屋で買ったノーブランド服や小物を身につけている人が多い。また、人と同じファッションを嫌う人も多く、流行に流されにくい。特定のショップやブランドにも強い拘りを持たず様々なショップをまわって同じブランドが重ならない。原宿とは違う個性がある魅力ある街だ。



## 銀座 .....

### ラフさと高級さが同居した上品スタイル

全体的には年齢層が若干高めで、上品で落ち着いた雰囲気を持った人が多い。ラグジュアリーブランドのバッグや時計を身につけている人も多いが、それでも全身を高級品で固めている人は少ない。ファストファッションのブランドを MIX して決して、ラフさと高級さを同居したスタイルに仕上げている。



# ロングガウン Long Gown



## ロングガウンは女子の愛されアウター!

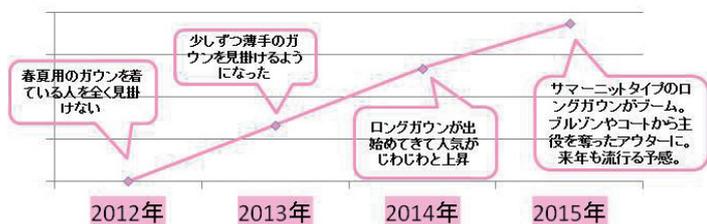
ストリートを見ていると、春のキーワードは“ラフさ”。コーデのなかには何か1点以上、オーバーサイズなアイテムやルーズな丈感のアイテムを取り入れることで、気取り過ぎない抜け感のあるスタイルにしている人が多い。そんな中で今春のレディースアウターの主役だったのがロングガウン。

トレンチコートやブルゾンといった春定番の軽アウターを抑えて大流行中のロングガウン。その要因は究極の「ルーズ感」だといえるだろう。ヒザ下まである丈はもちろん、大きめで肩が落ちるサイズ感で、トレンドのラフさを演出。まるで服に包まれているように見えるシルエットは、女性らしい華奢な感じを強調する効果もある。

これまでロング丈のアウターを敬遠してきた小柄な女子も、ロングガウンならあえての“着られてる感”が演出でき、女子力もアップする。普段着にもデートの勝負服にもおすすめの愛されアウター。



ロングガウン





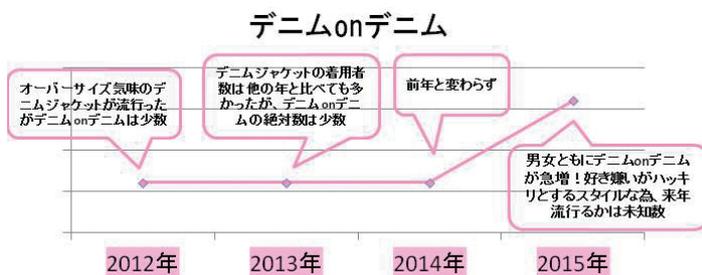
# デニムオンデニム Denim on Denim

## デニムの新ルール

数年前から叫ばれ続けている「デニムブーム」。2015 春はそれが極まってきた感があり、デニムセットアップはもちろん、バッグやハットなどの小物にもデニム素材を取り入れ、コーディネートの中に複数のデニムアイテムを取り入れる傾向があった。ここで注目したいのが、“デニムのテイストがバラバラでもOK”になってきている点。

これまででは、特にデニムセットアップを着るときは「上下同じ色味、素材感でなければダサイ」という風潮があった。その為、基本的に同じブランドでセットアップとしてデザインされたものを着る人が多かった。しかし、今季は例えば、リジッドのデニムジャケットにダメージデニムパンツを躊躇なく合わせる人も見かけるようになってきている。

これは近年見られる「ダサかわ」という新しい価値観の流れで出てきたものだろう。去年のクリスマスには、アメリカで「ダサすぎるクリスマスセーター」が逆にかわいいと話題になった。これは極端な例としても、丸メガネやループタイなど、少し野暮ったくてダサイものが新鮮に映るようだ。むしろファストファッションの浸透等で、「ダサイファッション」の方が変化してきた結果なのかもしれない。





# サンダル×ソックス sandals × socks

## サンダル×ソックス ストリート流ク リーンアウトドアスタイル!

ローテスニーカーやコートシューズの大流行で、シンプルさが極まってきた感があるメンズの足元事情。ただ、夏定番のサンダルには、その履きこなしに今季特有の変化が見られた。

それは、ソックスと合わせるスタイル。ストリート女子の間ではスポーツブランドのソックスが流行っているが、最近それがメンズにも飛び火した。レディースの場合、取り入れ方のポイントとしてはパンプスやミュールなどとあえて合わせることであったが、メンズではアウトドア系ブランドのサンダルとの組み合わせがマストになっている。

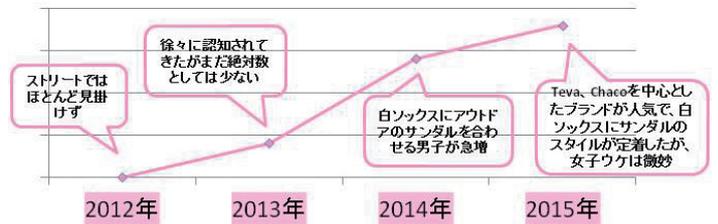
流行りの要因は、実用性と見た目の両面の様子。春から初夏にかけての微妙な気候にマッチするとともに、素足にサンダルを合わせたときの「レジャー感」が出すぎず、街中で違和感なく履きこなすことができる。

最近では爪先部分をカットし指を出した「サンダル用ソックス」も販売されていて、このまま毎年定番のスタイルになっていくのが注目だ。

### LADIES' で流行の スポーツブランドソックス



サンダル×ソックス(メンズ)





# シルバーシューズ *silver shoes*



## メタリックカラー入門は「シルバーシューズ」から!

2015 春のトレンドカラーの一つと言われる「メタリックカラー」。様々なブランドからゴールドやシルバーのアイテムがリリースされ、ストリートでも見かけるようになった。ただ、インパクトの強いカラーでもあり、難しそうでなかなか手が出ないという人も多いだろう。

メタリックカラーが流行りだしたと同時に、爆発的にストリートに増殖したのが“シルバーシューズ”着用者。単品で見ると難しそうに見えるアイテムだが、コーデに組み込むと意外になじみやすく、シルバーカラーが程よいアクセントになる。合わせる洋服の色味やテイストによって、違う表情が楽しめるのが魅力だ。



## シルバーシューズ



## POINT

人気の一番の要因はデニムアイテムとの相性の良さ。デニムは今春のメイントレンドなのだ。ブルーデニムのジャケットやパンツと合わせると、涼しげで初夏にぴったりの雰囲気を作ることができる。



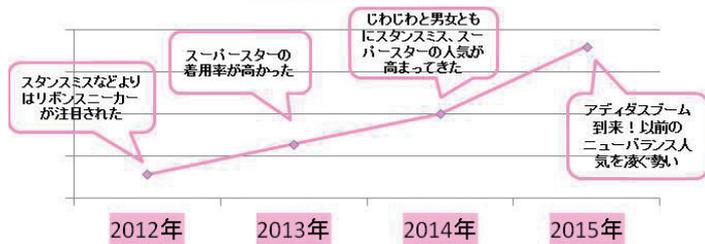
# アディダス adidas

## adidas 復活!

ニューバランス、ナイキ、ヴァンズ…。目まぐるしく変わるスニーカートレンド。2015年の主役は間違いなく『adidas』だった。ストリートでの着用者数は一時のニューバランスをしのぐ勢い。着用が多い人気モデルを紹介。

『Stan Smith』“世界で一番売れたスニーカー”と呼ばれているこのモデル。もともとはテニスシューズで、ベロの部分に描かれているのがモデル名となったテニスプレイヤー、スタン・スミス。革製で、adidasの代名詞“3本ライン”が通気口でデザインされているのが特徴。去年からそのシンプルさが人気となり、RAF SIMONS や PHARRELL WILLIAMS などと相次いでコラボモデルを発売したが、今年も人気は健在。

adidasスニーカー



Stan Smith



『Superstar』定番中の定番モデル。adidasのスニーカーといえばこれを思い浮かべる人も多いはず。こちらはバスケットシューズとして生まれた。特徴は何と言っても“シェルトゥ”と呼ばれる爪先で、丸みのある貝殻のようなデザインが“Superstarらしさ”の所以だ。定番モデルだが、今年に入って、ストリートで見かける頻度が急増した。発売45周年ということもあり、2015年代表スニーカー本命に躍り出た。

そもそもは1960年代ごろに初めて発売されたこれらのモデルだが、ファッションアイテムとしては80年代に最初の大ブームを迎えた。伝説的なHIP-HOPアイコンである「RUN-DMC」が着用したことで、HIP-HOPを始めとしたサブカルチャーシーンで人気に。今でも80sヴィンテージのSuperstarは多くの人の憧れの的となっている。

また、絶大な人気を受けて、今季は様々なコラボ・別注モデルも発売予定。去年Stan SmithとコラボしたPHARRELL WILLIAMSは、今季はSuperstarをデザイン。日本の実力派ブランド『White Mountaineering』は、スエードとヌバックを使った高級感溢れるStan Smithをリリースした。



## Superstar



### POINT

現在では、どんなスタイルにも合わせやすい靴として再びトレンドになっているadidasスニーカー。カジュアルはもちろん、モードスタイルの外しにもハマる。ひとつ気を付けたいのが、パンツと合わせるときの文感。スニーカーに丸みやボリューム感があるので、あまり裾をかぶせてダブつかせ過ぎしまうと、野暮ったい印象になってしまう。すっきりとしたスキニーに合わせるか、トレンドのアンクル丈パンツと合わせると最高のバランスになる。ソックスとの合わせもポイントだ。





## **JFA 「style-arena」 Report 2015 spring**

2015年8月発行

■ 解説 企画事業部 情報発信事業  
ディレクター 嶋田 有樹

■ 発行 一般財団法人 日本ファッション協会  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-5-1 神保町須賀ビル 7F  
TEL. 03-3295-1311 FAX. 03-3295-3295 E-mail info@japanfashion.or.jp